

科目名 Course Name	子どもの保健 Child health			ナンバリング No.	K1-005		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	長谷川久美子						
連絡方法	講義棟 1F 非常勤講師室においてか、C-ラーニングで対応する。						
必修/選択	選択 (保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>子どもの発育発達過程や特性に関する内容を体系的に学び、多様な背景を持つ子どもたちの健全育成を目指すための基本的な知識を修得する。</p> <p>①子どもの心身の健康と保健活動の関わりについて説明することができるようにする。                  ②標準的な身体発育および生理機能・運動機能発達について説明することができるようにする。                  ③子どもの健康状態の観察、体調不良の把握について具体的に述べるができるようにする。                  ④子どもの疾病の予防および適切な対応について説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	プリント資料、参考書、テキストの図表・写真・コラムおよび映像機器を活用する。授業計画の中間期に小テストを実施し、重要ポイントの振り返りをする。各種ガイドラインに沿って知見を広げ、子どもの保健に関する現状の課題や問題点についてグループワークを通して考察する。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>①子どもの健全な育ちを支える保健活動の基本的知識を修得し、保健指導や健康教育に役立てることができる。</p> <p>②発育・発達に影響を及ぼす因子を認識し、成長過程に応じた健康状態を正しく評価することができる。</p> <p>③科学的根拠に基づいた保育保健の知識を活用し、適切な対応に結び付けて考えることができる。</p> <p>④感染症の予防と対策について説明することができる。</p>					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト、定期試験を実施し試験結果を授業時間内にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:「子どもの保健」 学建書院 母子健康手帳 参考図書・参考資料:授業の中で適宜指示、必要に応じてプリント資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	テキスト、母子健康手帳、プリント資料などの教材を必ず準備して授業に臨む。 事前・事後学習に費やす時間はおよそ 180 分を目安とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	必要な教材を必ず準備し、疑問点や不明点を積極的に質問する。			10	
レポート/作品	出題者の意図した内容に合致し、課題の要件を満たしている。			10	
発表					
小テスト	設問内容を理解し授業の内容が正確に表現されている。			10	
試験	定期試験の記述式の設問は、授業内容が正しく記述・表現され設問内容の要件を満たしている。			70	
その他					
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って概要説明、学習への取り組み方等)
	事前・事後学習	「保育所保育指針解説書」概観
2	授業内容	子どもの健康と保健①—保健活動の意義と目的
	事前・事後学習	「母子健康手帳」の内容概観
3	授業内容	子どもの健康と保健②—健康の概念と健康指標      子どもの保健統計
	事前・事後学習	WHOの「健康の定義」
4	授業内容	子どもの健康と保健③—現代社会における子どもの健康      グループワーク
	事前・事後学習	子どもを取り巻く環境
5	授業内容	子どもの発育・発達と保健①—身体発育      発育の原則
	事前・事後学習	発育に影響を与える因子
6	授業内容	子どもの発育・発達と保健②—運動機能の発達      発達の方向性と運動通過率
	事前・事後学習	発達検査の方法
7	授業内容	子どもの発育・発達と保健③—生理機能の発達      脳の発達      呼吸・循環・体温 他
	事前・事後学習	ポルトマン「生理的早産」
8	授業内容	子どもの健康状態とその把握①—グループワークと健康観察用紙の記入
	事前・事後学習	健康診断と関連機関の連携
9	授業内容	子どもの健康状態とその把握②—体調不良時によく見られる症状と対応
	事前・事後学習	子どもに多い症状
10	授業内容	子どもの健康状態とその把握③—身体発育の評価
	事前・事後学習	身体計測      体格指数
11	授業内容	子どもの疾病予防及び適切な対応①—感染症の基礎知識
	事前・事後学習	感染症対策
12	授業内容	子どもの疾病予防及び適切な対応②—知っておきたい子どもの感染症
	事前・事後学習	保育所における感染症ガイドライン
13	授業内容	子どもの疾病予防及び適切な対応③—アレルギー疾患      免疫機能
	事前・事後学習	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
14	授業内容	子どもの疾病予防及び適切な対応④—そのほかの疾患
	事前・事後学習	学校生活管理指導表
15	授業内容	授業のまとめ
	事前・事後学習	重要ポイントのふり返し